

第2回 今冬期の大雪等への対応に係る関係省庁連絡会議

議 事 次 第

日時：平成25年3月4日（月）

12:30～12:45

場所：中央合同庁舎5号館防災A会議室

1. 古屋防災担当大臣訓示
2. 気象状況及び今後の見通しについて
3. 被害情報及び対応状況等について
4. その他

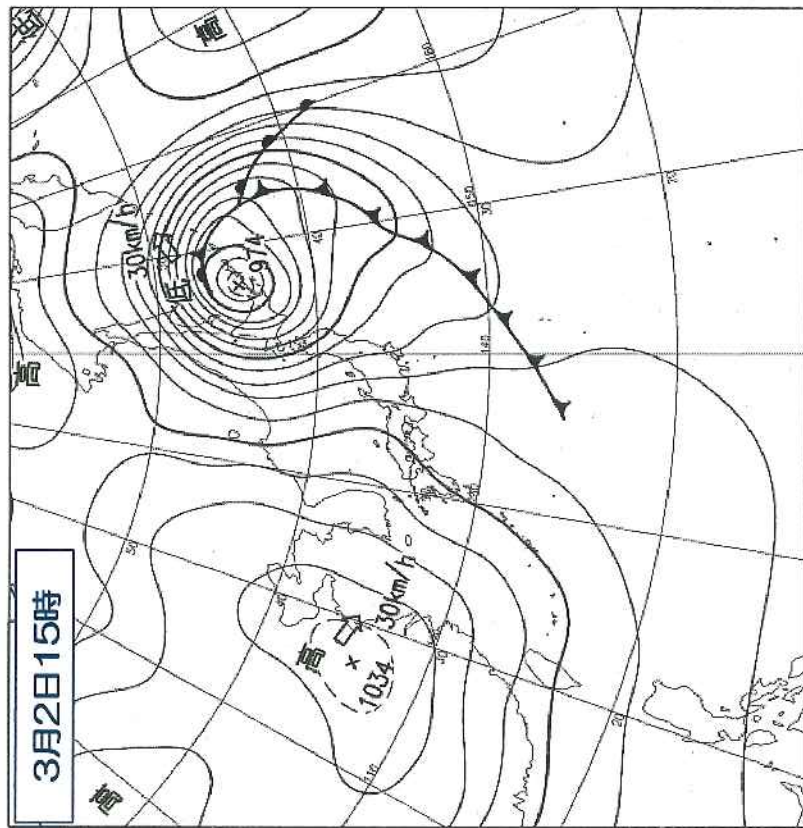
総理指示

- 1 被災状況の確認、危険箇所の把握を迅速に実施すること
- 2 除排雪を徹底し、ライフラインの確保、交通網の復旧に全力を尽くすこと
- 3 住民への的確な情報提供に努めること

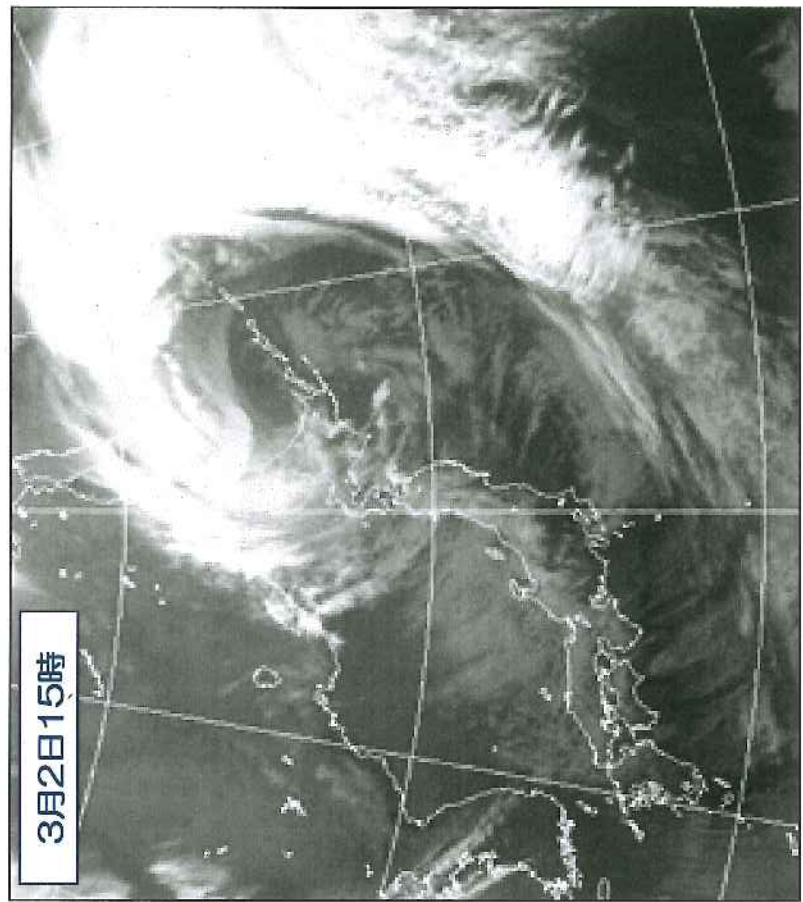
1 気象庁 平成25年3月2日の北海道・東北地方の暴風雪について

概況)

3月1日から2日にかけて低気圧が発達しながら日本海から北海道に進み、北海道・東北地方を中心に非常に強い冬の気圧配置となった。このため、新幹線の脱線事故が発生した秋田県や、吹雪によるとみられる事故が発生した北海道など、北海道・東北地方の広い範囲で暴風雪となった。



地上天気図

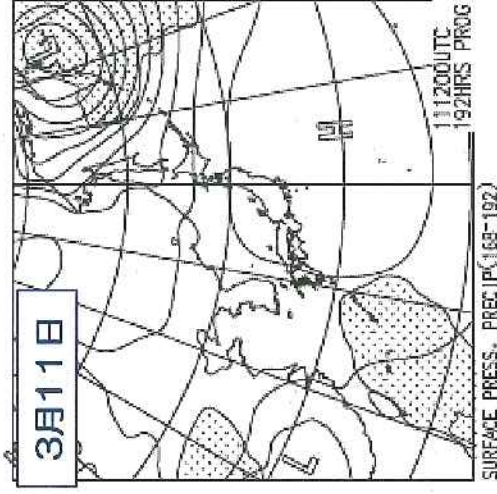
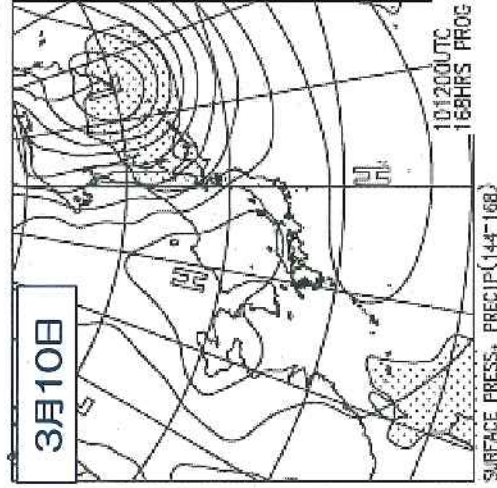
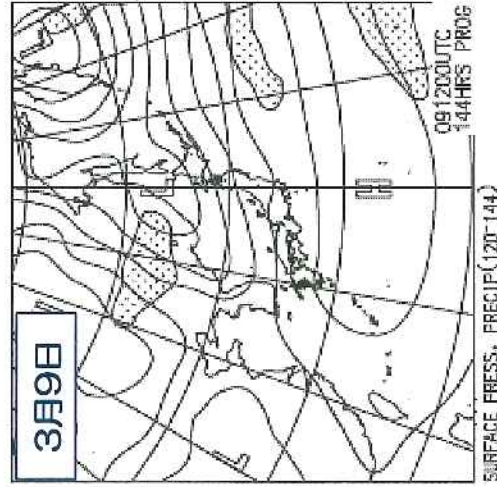
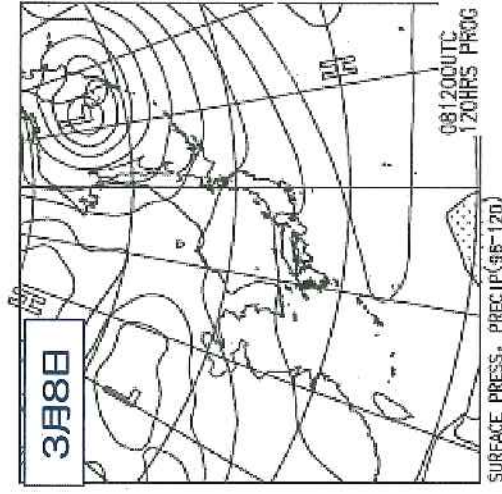
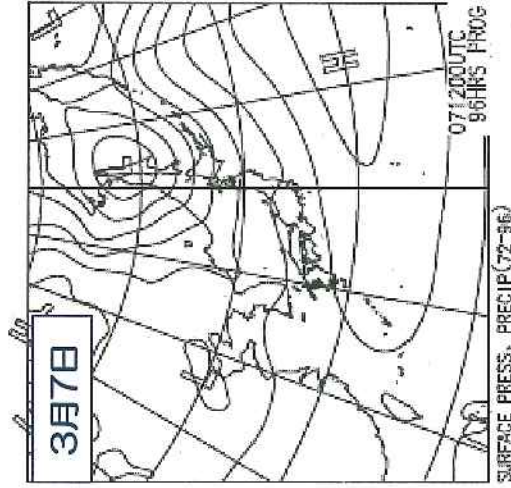
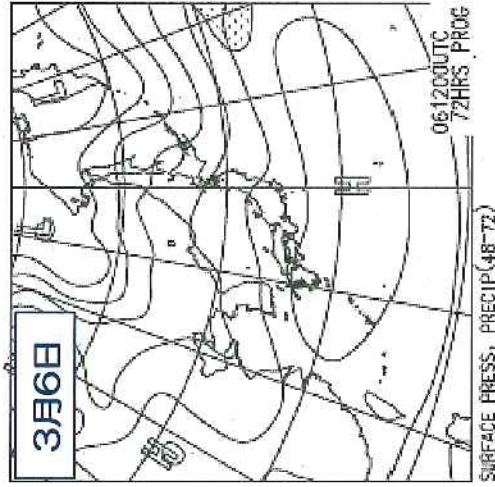


気象衛星赤外面像

平成25年3月2日の北海道・東北地方の暴風雪について

今後の見通し)

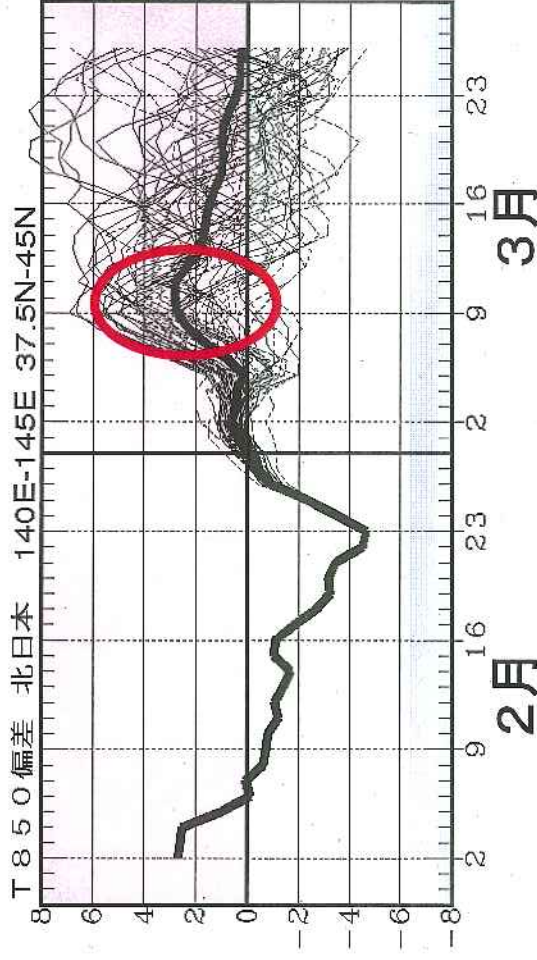
5日から11日にかけて、北海道と、東北地方から西日本の日本海側は、気圧の谷や寒気の影響で曇る日が多く、雪や雨の降る所がある見込み。



平成25年3月2日の北海道・東北地方の暴風雪について

その後1週間の見通し（3月12日～18日）

向こう1か月の上空1500m付近の気温平年差の予想



【北海道、東北地方】

- ・低気圧の影響を周期的に受け、曇りや雪または雨の日が多い。
- ・平均気温は平年より高い見込み。
- ・日本海側の降雪量は、北海道で平年並か平年より少なく、東北では平年より少ない見込み。

なだれ、融雪洪水、土砂災害にも注意が必要

平成25年3月2日の北海道・東北地方の暴風雪について

札幌管区気象台、仙台管区気象台では2月27日から、発達した低気圧に関する気象情報を発表し、暴風雪等に警戒を呼びかけました。

また、各気象台では暴風雪警報などを発表して警戒を呼びかけました。

全般

暴風雪と高波及び大雪に関する全般気象情報 第1号 平成25年3月1日04時33分
暴風雪と高波及び大雪に関する全般気象情報 第2号 平成25年3月1日16時34分
暴風雪と高波及び大雪に関する全般気象情報 第3号 平成25年3月2日04時33分
暴風雪と高波及び大雪に関する全般気象情報 第4号 平成25年3月2日16時19分

札幌

発達する低気圧に関する北海道地方気象情報 第1号 平成25年2月27日15時15分
暴風雪と高波及び大雪に関する北海道地方気象情報 第2号 平成25年2月28日15時38分
暴風雪と高波及び大雪に関する北海道地方気象情報 第3号 平成25年3月1日05時22分
暴風雪と高波及び大雪に関する北海道地方気象情報 第4号 平成25年3月1日16時15分
暴風雪と高波及び大雪に関する北海道地方気象情報 第5号 平成25年3月2日05時08分
暴風雪と高波及び大雪に関する北海道地方気象情報 第6号 平成25年3月2日15時57分
暴風雪と高波及び大雪に関する北海道地方気象情報 第7号 平成25年3月3日04時42分

仙台

融雪となだれに関する東北地方気象情報 第1号 平成25年2月27日15時33分
暴風雪と高波及び融雪に関する東北地方気象情報 第1号 平成25年3月1日05時46分
暴風雪と高波及び融雪に関する東北地方気象情報 第2号 平成25年3月1日16時14分
暴風雪と高波及び大雪に関する東北地方気象情報 第3号 平成25年3月2日05時17分
暴風雪と高波及び大雪に関する東北地方気象情報 第4号 平成25年3月2日16時22分

平成25年3月2日の北海道・東北地方の暴風雪について

(1) 強風の状況(3月4日速報値(アメダス) 5時現在)

主な風速		(3月1日から3日までの各観測所の最大値)	
北海道	えりも岬	27.4m/s	(西)
北海道	米岡	25.7m/s	(西)
北海道	稚内	25.4m/s	(北)
北海道	奥尻	24.0m/s	(西北西)
北海道	根室	23.8m/s	(北西)
青森県	八戸	23.5m/s	(西)
山形県	飛島	23.5m/s	(西)
北海道	宗谷岬	23.1m/s	(北北西)
北海道	浜鬼志別	22.9m/s	(北北東)
北海道	紋別小向	22.9m/s	(北西)
北海道	上標津	22.9m/s	(北西)
		2日14時48分	
		2日 5時14分	
		2日16時34分	
		2日 7時30分	
		3日 0時52分	
		2日11時32分	
		2日 4時28分	
		2日17時17分	
		2日 9時23分	
		2日18時41分	
		2日18時42分	
		3月として1位	2003年
		3月として1位	1988年
		3月として1位	2000年
		3月として1位	1937年
		3月として1位	1979年
		全年の1位	2003年
		全年の1位	2003年

・ 主な瞬間風速

(3月1日から3日までの各観測所の最大値)			
北海道	えりも岬	37.4m/s	(西)
北海道	羅臼	35.0m/s	(西北西)
北海道	根室	34.4m/s	(北西)
青森県	八戸	34.4m/s	(西北西)
北海道	稚内	34.1m/s	(北)
北海道	上標津	34.0m/s	(北西)
北海道	米岡	32.9m/s	(西北西)
北海道	小清水	32.4m/s	(北西)
福島県	白河	31.8m/s	(北西)
北海道	札幌	31.7m/s	(北北西)
		2日14時43分	
		3日 1時18分	
		3日 0時32分	
		2日11時05分	
		2日16時26分	
		2日19時14分	
		2日 6時01分	
		2日20時29分	
		2日22時36分	
		2日17時17分	
		3月として1位	1941年

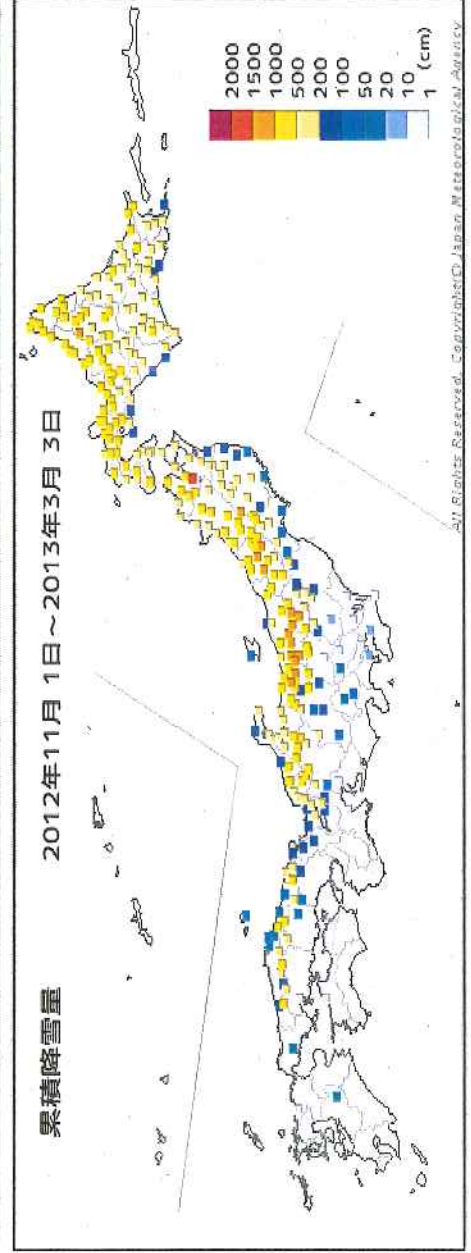
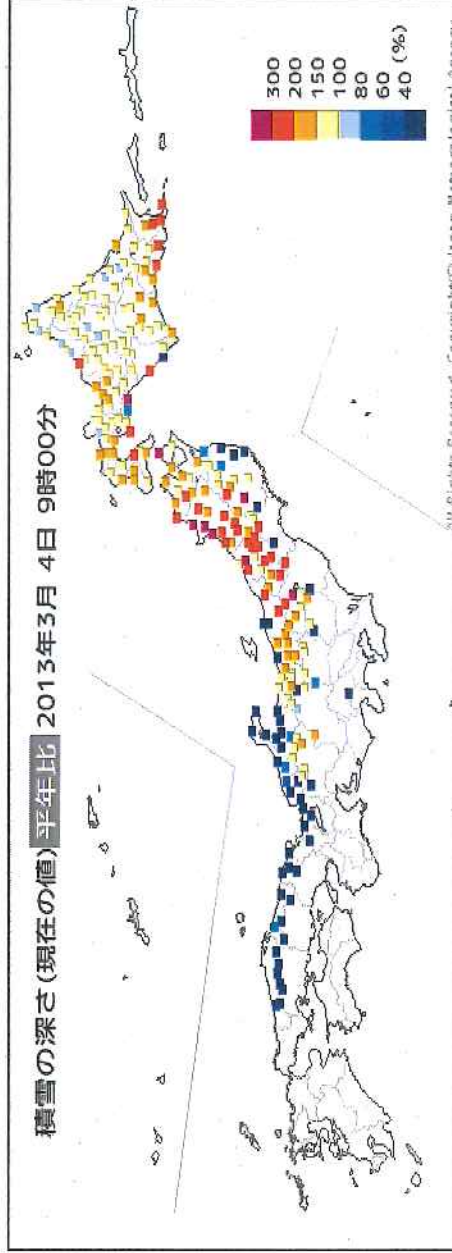
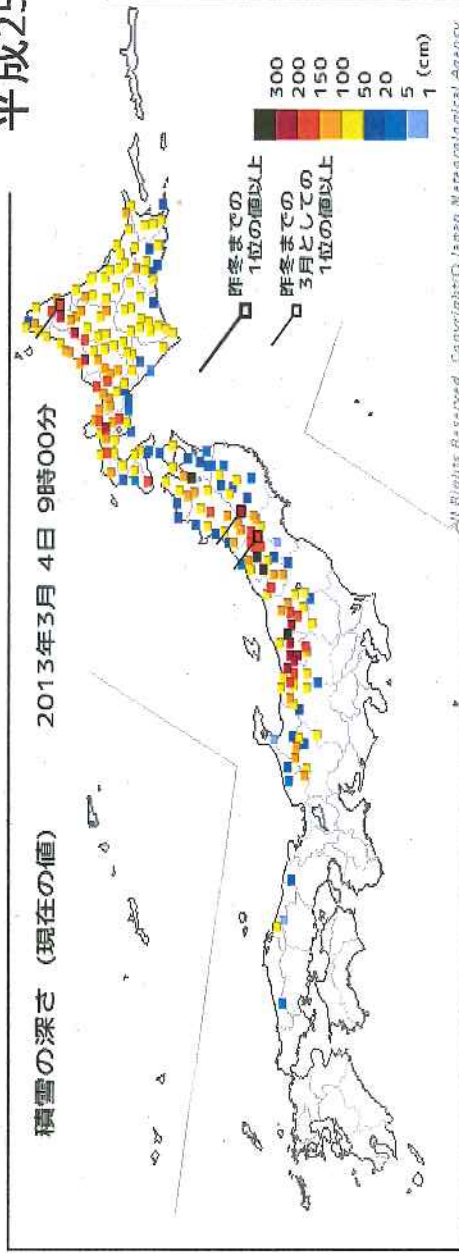
(2) 大雪の状況(3月4日速報値(アメダス) 5時現在)

・ 積雪の深さ

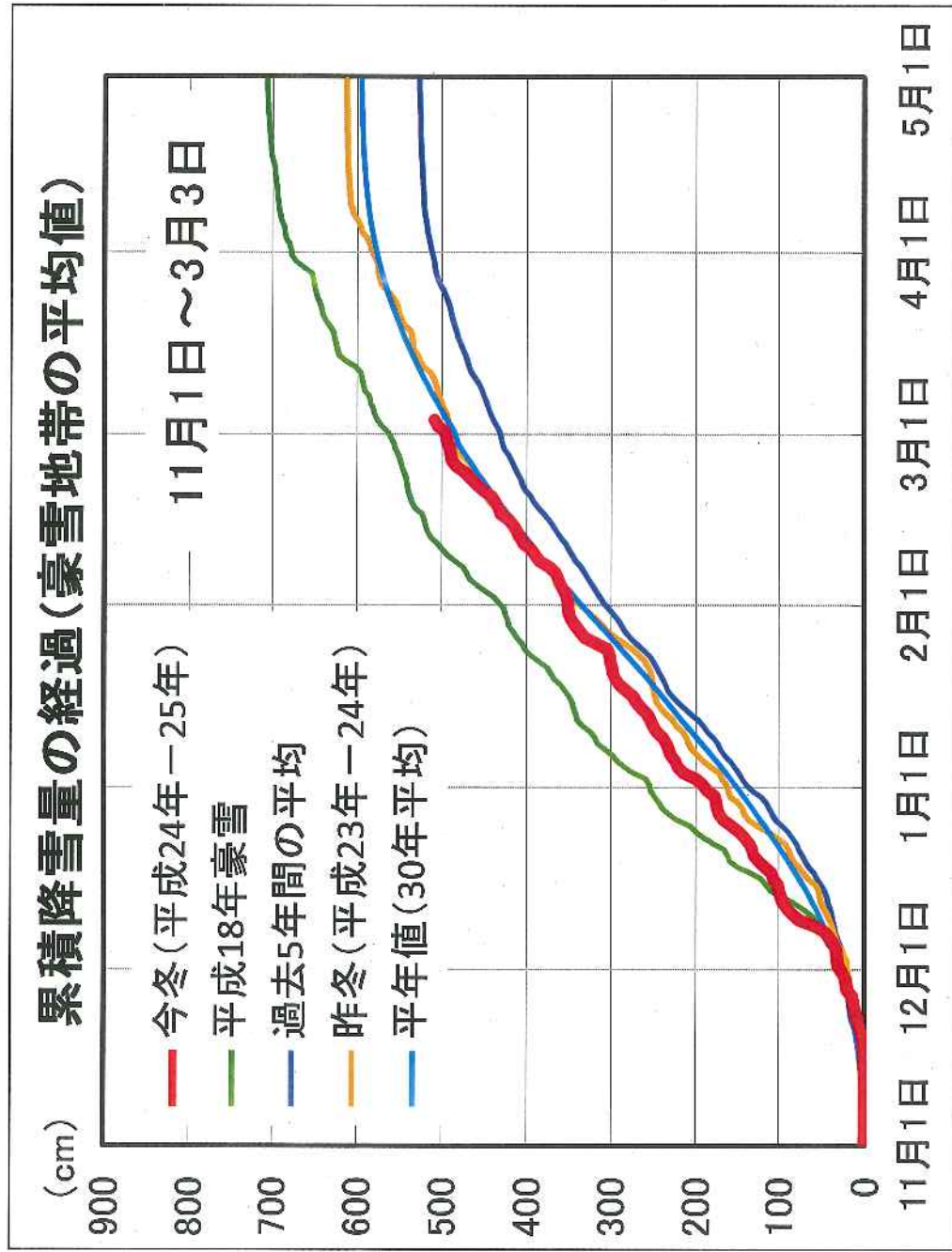
青森県	酸ヶ湯	500cm
山形県	肘折	366cm
山形県	大井沢	304cm
福島県	只見	285cm
北海道	幌糠	245cm
岩手県	湯田	235cm
北海道	音威子府	217cm
北海道	朱鞠内	215cm
北海道	俣知安	205cm
山形県	尾花沢	200cm

現在の雪の状況

平成25年3月4日
気象庁



累積降雪量の経過 (豪雪地帯の平均値) (2012年11月1日~2013年3月3日)



警察における雪害関係の取り組み 2 警察庁

除排雪作業に伴う事故防止にむけた広報啓発

- ・ パトロール時等に、声かけ等の注意喚起
- ・ テレビ、ラジオ等を活用した広報啓発
- ・ 関係機関と連携し、安全な除排雪講習を実施

ミニ広報紙での注意喚起

駐在所 遊 朝

その雪片付け大丈夫?

県内では、雪下ろし中の転落や落雪など、除排雪に伴ってケガや死亡事故



除排雪をめぐるとラフ



パトロール中に注意喚起を行う警察官



コミュニケーションで注意を呼びかける警察官

道路管理者と連携した交通管理対策

- ・ タイヤチェーン等の携行の呼びかけ
- ・ 道路利用者への積極的な情報提供
- ・ 迅速的確な交通規制、迂回誘導対策等の実施



車両の積出状況

タイヤチェーン装着の呼びかけ状況



交通規制・迂回誘導の状況



大規模な雪害事案に対応する的確な対応

- ・ 災害発生時の迅速な対応、救出救助体制の確立



関係機関と合同での救助訓練



雪崩事故発生時における捜索活動

今冬の雪による被害状況等

平成25年3月4日(月)7時00分
消 防 庁

1 主な被害及び災害対策本部の設置状況(概数)

都道府県名	人的被害				住家被害					非住家被害		災害対策本部	
	死者	行方不明	重傷	軽傷	全壊	半壊	一部破損	床上浸水	床下浸水	公共施設	その他	都道府県	市区町村
	人	人	人	人	棟	棟	棟	棟	棟	棟	棟		
北海道	29		122	247			15			3	84		2
青森	15		83	111					2		8	1	5
岩手	1		27	31			1				1		
宮城													
秋田	16		89	109			14	1	7	1	33		2
山形	10		88	58			5			1	26		
福島	5		5	16			5		8		7		8
茨城				11									
栃木			1	2									
群馬			4	6									
埼玉	1			17									
千葉			2	9									
東京			1	34									
神奈川			1	14			4						
新潟	4		65	91		1	4		3	2	22		9
富山	1		3	4					1				
石川	1			2									
福井				3									
山梨			5	3									
長野	5		22	26	1		1				1		
岐阜													
静岡													
愛知													
三重													
滋賀				1									
京都													
大阪													
兵庫				2									
奈良													
和歌山													
鳥取													
島根													
岡山													
広島	1		1										
山口													
徳島													
香川													
愛媛													
高知													
福岡													
佐賀													
長崎													
熊本													
大分													
宮崎													
鹿児島													
沖縄													
合計	89		519	797	1	1	49	1	21	7	182	1	26

※ 表中の死傷者数は、交通事故及び転倒によるものを含まない。(ただし、除雪作業中のものは含む。)

※ 表中の災害対策本部は災害対策基本法に基づき設置されたもので、既に解散したものを含む。

2 死者の概要

死亡状況	65歳未満	65歳以上	合計
雪崩による死者			
屋根の雪下ろし等、除雪作業中の死者	16	53	69
落雪による死者	2	5	7
倒壊した家屋の下敷きによる死者			
その他	9	4	13
合計	27	62	89

平成24年度雪害に係る災害派遣

北海道登別市

活動終了

(1)災害派遣の概要

平成24年11月27日(火)、北海道登別市において、暴風雪により約21,000世帯が停電し、自治体が避難所を設置するも、暖房機器等の不足のため、同日16時20分、北海道知事(胆振総合振興局長)から陸上自衛隊第7師団長(東千歳)に対し、救援物資輸送等に係る要請。

(2)派遣部隊

派遣部隊 陸自 第13施設隊(幌別)、第71戦車連隊(北千歳)

派遣規模 人員 延べ約160名、車両 延べ約40両

(3)活動内容

27日から28日にかけて、第13施設隊が登別市内各避難所に向けて、救援物資(ストーブ、毛布、発電機)の輸送及び設置を実施、第71戦車連隊が閉所された避難所の撤収支援等を実施。

また、28日から30日にかけて、各避難所の運営支援等を実施し、30日15時20分に撤収要請。

北海道網走市

活動終了

(1)災害派遣の概要

平成25年2月11日(月)、北海道網走市において、導水管の損傷により約11,600世帯が断水し、同日13時20分、北海道知事(オホーツク総合振興局長)から第6普通科連隊長(美幌)に対し、給水支援に係る要請。

(2)派遣部隊

派遣部隊 陸自 第6普通科連隊(美幌) 空自 第28警戒隊(網走)

派遣規模 人員 約160名、車両 約80両(うち1t水トレーラー 22両)

(3)活動内容

11日から12日にかけて、陸自第6普通科連隊給水部隊及び空自第28警戒隊給水部隊が、市内の11ヶ所において、給水支援を実施し、12日08時00分に撤収要請。

北海道北見市等及び別海町

活動終了

(1)災害派遣の概要

【北見市、美幌町、大空町】

① 平成25年3月2日から3日の明け方にかけて発生した暴風雪の影響により、北海道北見市常呂町においてバスが立ち往生し、2日(土)20時50分、北海道知事(オホーツク総合振興局長)から第6普通科連隊長(美幌)に対し、人命救助に係る要請。

② また、3日(日)に、国道39号線における立ち往生車両に係る安否確認について追加要請。

【別海町】

野付郡別海町中春別地区において、同様に車両の立ち往生が発生し、3日08時45分に、北海道知事(根室振興局長)から陸上自衛隊第27普通科連隊長(釧路)に対し、人命救助に係る要請。

(2)派遣部隊

北見市、美幌町、大空町

別海町

派遣部隊 陸自 第6普通科連隊、第101特科大隊(美幌) 陸自 第5偵察隊(別海)

派遣規模 人員 約80名、車両 16両 人員 約10名、車両 1両

(3)活動状況

【北見市、美幌町、大空町】

第6普通科連隊が、2日に常呂町に向けて美幌駐屯地を出発し、翌3日にバスから乗客・乗員全24名の收容、避難所への搬送を実施。また、同日3日、同隊と第101特科大隊により、国道39号線(美幌町～大空町間)の立ち往生車両に係る安否確認を実施。同日12時40分に撤収要請。

【別海町】

3日に第5偵察隊が別海駐屯地を出発したが、消防により立ち往生車両中の人が救助されたことを受けて、同日09時11分に撤収要請。

今冬の大雪等による被害情報

※これは速報値であり、数値等は今後も変わることがある。

1. 文部科学省の主な対応

- ・各都道府県教育委員会等関係機関に対し「降積雪期における防災態勢の強化等について」の通知を发出(12月19日)。
- ・文部科学省災害情報連絡室(室長:施設企画課長)を設置(12月26日18時26分)。
- ・今冬期の大雪等への対応に係る関係省庁連絡会議に施設企画課防災推進室長が出席(12月26日)。
- ・東北地方～西日本の都道府県教育委員会に対し、防災態勢の強化を図るとともに、児童生徒等の安全確保及び施設の安全確保等に万全を期すよう要請(2月5日17時54分)。

2. 文部科学省関係の被害情報(3月3日22時00分時点)

(1) 人的被害 (計 4名)

- ・北海道内の小学校の男子児童1名が、割れたガラスにより手を負傷(軽傷)(12月4日)
- ・青森県内の高等学校の女子生徒3名が、除雪作業中に庇から落下して負傷(軽傷)(1月31日)

(2) 物的被害 (計 110施設)

都道府県名	国立学校施設 (校)	公立学校施設 (校)	私立学校施設 (校)	社会教育・体育、 文化施設等 (施設)	文化財等 (件)	研究施設等 (施設)	計
北海道		73					73
千葉県					2		2
東京都		22			1		23
新潟県		8					8
石川県	1	1					2
三重県					1		1
岡山県		1					1
計	1	105			4		110
1都1道5県	高専 1	幼 1 小 64 中 28 中等 1 高 10 特支 1			重文 2 史跡 1 名勝 1		

・主な被害状況：倒木、ガラス破損、困障倒壊等

3. 今後の対応

引き続き、教育委員会等と連携を密にしつつ、被害状況等の収集に努める。

＜担当＞ 文教施設企画部施設企画課防災推進室
室長 森 政之(内線2988)
専門官 松下 洋介(内線3674)

平成25年(2013年)今冬期の大雪等による被害・対応状況について
(3月4日11時00分現在)

平成25年3月4日
経済産業省

大雪による、経済産業省関連の被害状況等は、現時点で把握している限りで、以下の通り。

ライフライン関係

(1) 電力

○北海道電力㈱ ※3月3日(日)14:31にすべて復旧

①延べ停電戸数:約8,000戸

②主な停電エリア:北見市、網走市、羅臼町、標津町、中標津町 ほか

○東北電力㈱ ※3月3日(日)19:44にすべて復旧

①延べ停電戸数:約7,200戸

②主な停電エリア:

- ・岩手県(約3,500戸)
宮古市、大船渡市、久慈市、一関市、奥州市、平泉町の一部
- ・青森県(約1,100戸)
八戸市、五所川原市、横浜町、三戸町、田子町、軽米町の一部
- ・宮城県(約800戸)
石巻市、栗原市、大崎市の一部
- ・秋田県(約700戸)
秋田市、大館市、男鹿市、三種町の一部
- ・山形県(約500戸)
酒田市、舟形町の一部
- ・新潟県(約500戸)
新潟市江南区、十日町市、燕市、南魚沼市の一部
- ・福島県(約100戸)
郡山市の一部

(2) 都市ガス

被害情報なし。引き続き情報収集中

(3) LPガス

被害情報なし。引き続き情報収集中

(4) 工業用水道事業

被害情報なし。引き続き情報収集中

(5) 燃料関係

被害情報なし。引き続き情報収集中

暴風雪と高波及び大雪にかかる被害状況について（概要）

1. 被害状況等

○人的被害の状況（マスコミ情報）

- ・報道によれば、新たに8名の死亡が確認された。詳細は以下のとおり。
 - 2日夜、北海道東部の中標津町（なかしべつちょう）の道道で、雪に埋まって動けなくなっていた車の中で一酸化炭素中毒により4人が死亡。
 - 2日午後、北海道のオホーツク海側にある湧別町（ゆうべつちょう）で、父親と小学生の娘の2人が雪に埋もれている状態で発見され、父親が死亡。
 - 3日午前、中標津町の牧草地で近くに住む女性1人が死亡。
 - 3日午前、富良野市の畑地で男性1人が死亡。
 - 3日午前、網走市の道路脇で男性1人が死亡。
- ・その他、今冬の雪による死者は75名（除雪作業63名、落雪7名、その他5名）。（2月28日15時消防庁調べ）

○一般被害の状況（マスコミ情報）

- ・北海道では、1～3日にかけて、のべ8000戸で停電。（日本経済新聞HPより）

2. 気象の状況及び見通し（3月4日現在）

4日から10日にかけて、北日本と、東日本から西日本の日本海側は、気圧の谷や寒気の影響で曇る日が多く、雪や雨の降る所がある見込み。

○避難の状況（マスコミ情報）

- ・道内で約650人が地域の学校などに避難。（読売新聞HPより）

○所管施設等に係る主な被害

■道路関係

- ・高速道路：通行止めなし
- ・直轄道路：北海道内2区間（R241, R243）で通行止中。
※ 事前通行規制による通行止。

■鉄道関係

- ・JR北海道1路線（留萌線）運転休止中
※ 2日より脱線事故の影響により運転を休止していた奥羽線（秋田新幹線）については、本日の始発から運転を再開。

- 官庁営繕、航空、バス、物流、海事、港湾、海保、観光については被害情報なし。

3. 国土交通省の対応

○災害情報連絡担当官（リエゾン）

- ・2日から北海道開発局の職員をリエゾンとして3名を標津町および大空町に派遣し、被害情報の収集や自治体からの要望に対する支援を実施。

○国土交通省の体制

- ・本省は豪雪情報連絡室を設置（12月26日20時～）
- ・地方支分部局の体制 警戒体制：東北地方整備局
注意体制：北海道開発局、北陸地方整備局、北海道運輸局